

第九回国際駅伝大会

体育会が呼び掛けたところ、学生九名と一緒に二名が志願し、米二三〇キロをはじめ、紙コップ二四〇個、カッパ七二着、しゃもじ三二〇〇個、もみじ饅頭一九〇〇個などの物品や三五万円余の寄付金が大学内外から寄せられた。

一行は、これらの救援物資や寝袋、炊飯用具などをワゴン車二台に積み込んで、西村学生部長らに見送られながら午前九時三十分に出発した。

一行の予定は二十四日までであつたが、翌日から冬型の気圧配置が強まり、二十六日まで作業中止が決定され、結果的にはボランティア活動ができなかつたが、三月にも再度救援活動を行う予定。

今回のボランティア活動を呼び掛けた谷敏弘隊長（工学部四年）は、「阪神淡路大震災を契

土地区画整理事業を推進しているが、予定より一年早く、三月末に計画区域内で減価償用地七八〇〇平方メートルを取得することになった。

（三月二十二日付け「広島経済レポート」）

西条駅前の開発は、市のシンボルロードであるブルバール（西条駅大学線、幅員三十メートル）を駅前まで約二〇メートル延ばして大学キヤンバスと駅を一直線に結び、古い家並みや駅前商店街を一新して学園都市の表玄関として整備するもので、総事業費は一三一億二〇〇〇万円。工事完成は十年後の平成十九年度末を目指している。

去る一月二十七日に開かれた西条駅前土地区画整理審議会（会長＝蜂須賀和則）の初会合では、土地評価委員（五人）を決めたほか、事業概要の説明が行われた。今年十二月中には仮換地指定を終える予定。

持久力と走力を競い合うなかで、国際交流、地域交流を深めることを目的として毎年一月に開催されている。



A black and white photograph showing a relay race in progress. A line of male runners in white t-shirts and dark shorts are running on a paved path. The runner on the far left is in mid-stride, while others are following behind. In the background, there's a large banner with Japanese text that reads "Waseda University International Relay Race". The scene is outdoors with trees visible in the distance.

附属図書館では「短期整備計画」の一環として、利用者から要望が強かつた中央図書館の日曜開館を昨年十一月二十四日から開始し、利用者の便宜を图ってきた。同時に、平日の開館時間を各図書館（中央図書館、東図書館、西図書館、医学分館）で一斉に一時間延長した。

サービスを開始して四か月を経過したが、日曜開館については既に平成七年より実施されている土曜開館などの利用者数となつており、夜間開館時間延長についても各館とも利用が増加している。とくに、この一月中旬以降は試験期と重なつたこと也有つて、実施直後二か月の平均利用者数に比べ三倍の利用者数となつてゐる。

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動を行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

今回、日本海でロシアのタンカー「ナホトカ」が沈没し、多くの重油が日本海を汚した。日本海の美しさに心を打たれていただけに、自分の手で何かできないかと、居ても立つてもいられない気持ちだった。

現地では、ボランティア側と行政側との足並みがそろっていないという状況だった。情報は一面的で、生きたものが一般の人たちに届いていないのを感じた。現場の状況は日に日に変化している。その時のニーズにあつた物資が必要とされている。今後、ボランティアにおける情報交換について課題が残されると思う」と話している。



協定書に署名する松村工学部長と杜副学長

癌の早期発見のために

へ走り揚て、土勤学長の臨席のもと、副学長と協定書に署名した。

その時、すなはち一月二十一日夕刻の哈爾濱市は、快晴ながら水点下三〇度の極寒であったが、同大学の創立と本学部の前身の広島高等工業学校の創立が共に一九二〇年であったことが分かったこともあって、調印式は和やかな暖かい雰囲気で行われた。また、福永研究室の留学生 姚力軍君(哈爾濱工業大学出身)の献身的な通訳のおかげでもあった。

哈爾濱市は人口三〇〇万、ロシア風の大きな建築物が並ぶ美しい大都市である。今後、同大学は学生交流協定を結ぶことを希望しているので、多数の本学部の学生諸君が同市を訪れるることは、この先遠いことではないだろう。

産官学連携で技術研修
「製造業離れ」に歯止め

この部分はDNAを移膜で固定している部分なので、これが短くなることはDNAを不安定にする可能性がある。発癌物質や活性酸素によってDNAに傷がつき、適正に修復されないときは、その傷が細胞分裂のたびにだんだん増幅されるようになる。その傷が重要な遺伝子におきると癌化が始まるとされている。

質疑応答では胃癌とピロリ菌との関係についても質問があり、吉原助教授は「疫学的にピロリ菌と胃癌の関係が認められており、今ピロリ菌の除菌により胃癌を予防できるかどうかの全国プロジェクトが進みつつある」と話している。

学会賞などの受賞者									
所 属	職 名	氏 名	名 称	備 考	所 属	職 名	氏 名	名 称	備 考
	名譽教授	藏本 淳	中国文化賞	中国新聞社	医学部附属病院	講 師	森 田 栄 伸	THE FIRST JOINT MEETING of the JAPANESE and CANADIAN SOCIETIES for INVESTIGATIVE DERMATOLOGY	the JAPANESE and CANADIAN SOCIETIES for INVESTIGATIVE DERMATOLOGY
	名譽教授	三好 信 浩	中国文化賞	中国新聞社				優秀ポスター賞	日本皮膚アレルギー学会
	元 教 授	様 本 功	中国文化賞	中国新聞社				内科学会奨励賞	日本内科学会
	名譽教授	藤 谷 健	化学教育賞	日本化学会				第1回日本麻酔学会若手研究者奨励賞	日本麻酔学会
	名譽教授	中 川 淳	大阪高等裁判所長官表彰	大阪高等裁判所				日本泌尿器科学会坂口賞	日本泌尿器科学会
総合科学部	講 師	村 田 晃 翔	第2回読売論壇新人賞・優秀賞	読売新聞社				エアランガ教育勲章	エアランガ大学
文 学 部	助 教 授	河 瀬 正 利	第5回雄山閣考古学特別賞	雄山閣				日本歯科放射線学会賞学術奨励賞	日本歯科放射線学会
教育学部	教 授	武 村 重 和	FELLOW OF ACEID (ユネスコ・アジア太平洋地域 教育開発センター賞)	ユネスコ バニコック				システム制御情報学会賞論文賞	システム制御情報学会
学校教育学部	教 授	小 篠 敏 明	豊田賞	日本英文学会				土木学会吉田賞	土木学会
	助 手	古 賀 信 吉	ICTAC Young Scientist Award	国際熱測定学会連合				画像電子学会論文賞	画像電子学会
経済学部	教 授	前 川 功 一	Econometric Theroy Award	Econometric Theroy (イェール大学)				日本化学会学術賞	日本化学会
理 学 部	教 授	田 中 健 一 郎	化学・バイオつくば賞	化学・バイオつくば財団				内藤雅喜記念賞	内藤雅喜記念賞
	教 授	嶋 田 扈	日本動物学会賞	日本動物学会				計測自動制御学会論文賞	計測自動制御学会
	助 教 授	赤 坂 甲 治						奥山喜久夫	日本エアロゾル学会論文賞
理学部附属臨海実験所	教 授	道 端 齋	井上学術賞	井上科学振興財团				鳴瀧 売 彦	日本エアロゾル学会論文賞
	助 教 授	佐 伯 修						高城賞	精密測定技術振興財团
理 学 部	講 師	木 村 正 人	日本数学会賞建部賢弘賞	日本数学会				平 川 正 人	Meritorious Service Award
	助 手	吉 岡 康 太						新 川 英 典	IEEE Computer Society
	助 手	入 船 浩 平	染色体学会賞	染色体学会				松 木 一 弘	日本放線菌学会浜田賞
	理学部等技術機器 ・試料製作技術長	尾 崎 卓 美	日本化学会化学技術有功賞	日本化学会				藤 江 誠	本多記念研究奨励賞
医 学 部	教 授	木 村 栄 一	平成8年度日本薬学会賞	日本薬学会				日本植物形態学会奨励賞	日本植物形態学会
	講 師	瀬 尾 明 彦	平成7年度優秀論文賞	姿勢研究所				谷 田 創	国際応用動物行動学会第30回大会学会賞
	助 手	宇 根 瑞 穂	ウルソ賞	東京田辺製薬㈱				田 中 英 夫	第30回大会大会委員長
								第57回日本血液学会奨励賞	日本血液学会

図書館の時間延長
夜間開館時間延長のその後

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動が行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

今回、日本海でロシアのタンカー「ナホトカ」が沈没し、多くの重油が日本海を汚した。日本海の美しさに心を打たれていただけに、自分の手で何かできないかと、居ても立つてもいられない気持ちだった。

現地では、ボランティア側と行政側との足並みがそろっていないという状況だった。情報報は一面的で、生きたものが一般の人たちに届いていないのを感じた。現場の状況は日に日に変化している。その時のニーズにあつた物資が必要とされている。今後、ボランティアにおける情報交換について課題が残されると思う」と話している。

動き出したJR西条駅前の 二十九三山文庫

二月二十二日付けの「広島経済レポート」によると、新年度からスタートする「ライジングジェネレーション²¹」と名づけられたこの計画では、本学工学部・広島工業大・近畿大工学部・広島電機大・広島市立大情報科学部・芸術学部の学生に呼び掛けて、夏休み期間中に実業中心の「技術サマースクール」を開講するほか、企業見学会、企業トップや技術者を講師にした交流会や集中講義の開催、学生の研究テーマの実地指導などを予定している。

市技セセンターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。

この部分はDNAを核膜に固定している部分なので、これが短くなることはDNAを不安定にする可能性がある。発癌物質や活性酸素によってDNAに傷がつき、適正に修復されないときは、その傷が細胞分裂のたびにだんだん増幅されるようになる。その傷が重要な遺伝子におけると癌化が始まるところである。質疑応答では胃癌とピロリ菌との関係についても質問があり、吉原助教授は「疫学的にピロリ菌と胃癌の関係が認められており、今ピロリ菌の除菌により胃癌を予防できるかどうかの全国プロジェクトが進みつつある」と話している。